

市民用

現代 GP
平成 19 年度

「美と芸術のマイスター育成講座」

受講案内および受講申込書

- ◆平成 19 年度学年暦・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 1
- 1. 育成講座がめざすもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 2
- 2. 講座の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 2
- 3. 受講のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 2
- 4. 授業科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- 5. 課題別学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- 6. 受講の決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- 7. 講座の修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- 8. 受講生の身分・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- 9. 筑波大学への交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 3
- ◆筑波大学芸術専門学群周辺マップ・・・・・・・・・・市民 4
- ◆「美と芸術のマイスター育成講座」
授業科目一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 5
- ◆受講申込書・・・・・・・・・・・・・・・・・・市民 16

事務局連絡先

〒305-8574 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学芸術学系気付 現代 GP 事務局
TEL: 029-853-2845 FAX:029-853-6508
E-MAIL: hsibata@sec.tsukuba.ac.jp
<http://artisan.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~gendai/>



筑波大学芸術専門学群



平成19年度学年暦

第1学期（4月1日～7月31日）

第1学期授業開始 4月12日（木）

第1学期授業終了 6月25日（月）

第1学期期末試験 6月26日（火）～7月2日（月）

夏季休業 7月3日（火）～7月31日（火）

第2学期（8月1日～11月30日）

夏季休業 8月1日（水）～8月31日（金）

第2学期授業開始 9月3日（月）

学園祭 10月6日（土）～10月8日（月）

第2学期授業終了 11月19日（月）

第2学期期末試験 11月20日（火）～11月26日（月）

秋季休業 11月27日（火）～11月30日（金）

第3学期（12月1日～3月31日）

第3学期授業開始 12月3日（月）

冬季休業 12月26日（水）～1月6日（日）

第3学期授業終了 2月29日（金）

第3学期期末試験 3月3日（月）～3月7日（金）

春季休業 3月8日（土）～3月31日（月）

学年終了 3月31日（月）

授業時間

時限	授業時間	休憩時間
第1時限	8：40～9：55	9：55～10：10
第2時限	10：10～11：25	11：25～12：15
第3時限	12：15～13：30	13：30～13：45
第4時限	13：45～15：00	15：00～15：15
第5時限	15：15～16：30	16：30～16：45
第6時限	16：45～18：00	

1. 育成講座がめざすもの

筑波大学芸術専門学群は、市民の皆様に学生とともに芸術（美術・デザイン）の授業（「美と芸術のマイスター育成講座」）を受ける機会を提供します。受講生には、講座の修了後、芸術に関する知識や技能を地域社会の文化向上に役立てる指導者（マイスター）となっていきたいと願っております。美と芸術を愛する人の輪を広げること（人材育成）がこの講座の目的であり、うるおいのある町づくりに寄与すること（地域貢献）がこの講座の目標です。

2. 講座の概要

□開講式 4月9日（月）（予定）

「美と芸術のマイスター育成講座」は、9コースからなっています。

コースは、①芸術理論・支援コース、②美術（洋画）コース、③美術（日本画）コース、④美術（彫塑）コース、⑤美術（書）コース、⑥構成（構成・総合造形・クラフト）コース、⑦構成（クラフト・陶芸）コース、⑧構成（ビジュアル）コース、⑨デザイン（情報・プロダクト・環境・建築）コースです。

授業は、芸術専門学群のある地区の教室や工房、屋外、あるいは学外において実施します。すべての科目を専任教員が担当します。学生が、市民受講生の学習を支援します。

受講対象者は、成人男女で、原則として、つくば市在住の方、つくば市に勤務先のある方、つくば市に通学先のある方です。受講希望者多数の場合は、選考となることがあります。

3. 受講のしかた

受講については、授業科目一覧表を参考にしながら、まず、9のコースの中から自分の学習希望に沿うコースを一つ選択してください。

次に、自分の希望したコースにおいて、3科目以上の授業を選択してください。（開設科目数が3科目未満のコースを除く。）

各コースの授業科目は、原則として講義と実習・演習からなっています。授業では、学生と同じ学習プログラムに取り組んでください。

マイスター育成講座には、課題別学習があります。これは、参加受講生（市民）が地域のリーダーとして活動する上で、芸術支援等の解決したい課題に対して、教員がマンツーマンで課題解決に向けて指導します。

4. 授業科目

「美と芸術のマイスター育成講座」の9コースの一覧表および「平成19年度学年暦」を参照して下さい。

5. 課題別学習

マイスター育成講座には、課題別学習があります。これは、参加受講生（市民）が地域のリーダーとして活動する上で、芸術支援等の解決したい課題に対して、教員がマンツーマンで課題解決に向けて指導します。

6. 受講の決定

現代GP事務局では、2月28日に申し込みを締め切ります。この申込書をもとに、つくば市との関わりや受講目的・希望コースを勘案し、必要に応じて面談して、受講者を決定します。その上で、3月下旬までに通知します。

7. 講座の修了

講座を修了するためには、授業回数の6割以上に出席することが必要です。評価については、授業科目ごとに学生に準じて行います。受講した授業に関して大学の単位認定を得ることはできません。

8. 受講生の身分

- 1) 受講生には受講証明書が発行されます。随時携帯して下さい。
- 2) 筑波大学の図書館の利用が可能となります。

9. 筑波大学への交通

大学にお出かけの際は、つくば駅と筑波大学とを結ぶ循環バスの利用が便利です。

講座受講などのため自家用車で大学にお出かけの際には、大学本部棟前の中央案内センターあるいは松見口案内センターに立ち寄り、無料パスカードを発行してもらって、所定の駐車場に車を止めて下さい。夜間・休日の場合は体芸棟警備員室の警備員にお申し出下さい。

筑波大学芸術専門学群周辺マップ



「美と芸術のマイスター育成講座」授業科目一覧表

コース	科目名	区分	担当教員名	科目番号	学期	曜 時限 教室	受講定員、授業期間、受講条件等
芸術理論・ 支援コース	美学・芸術学概論	講義	金田千秋	Y510101	1,2	月 3 第 3 学群棟 3 A203	市民受講生 10 名以内 4 月 1 2 日～1 1 月 1 9 日
		授業概要 ヨーロッパは美と芸術に関する哲学的な理論を展開させてきた。この発展を性格づけている主要なキーワードを紹介する。同時にヨーロッパ（特にドイツ）の美学に大きな影響を及ぼした主要な思想家たちの言説も紹介し、それが含む可能性と限界を吟味しつつ、逆に、現代の「我々」の芸術観を批判的に省察することを目指す。					
	西洋美術史概説	講義	長田年弘 寺門臨太郎	Y510201	2,3	火 2 D 棟 1F 公開講義室	市民受講生 5 名以内 9 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
		授業概要 古代から近代に至る西洋美術史の様式変遷と基礎的概念を概説する。					
	彫刻史 A	講義	八木春生	Y200311	1~3	月 5 芸術学系棟 B203	市民受講生 5 名以内 4 月 1 2 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
		授業概要 主として中国南北朝時代の彫刻史を概観する。					
美術論 B	講義	斉藤泰嘉	Y200111	1~3	月 6 芸術専門学群 B 棟 6B302	市民受講生 10 名以内 4 月 1 2 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日	
	授業概要 ロダン以降の近現代彫刻史を概観し、20 世紀以降の新しい彫刻概念について考える。						
芸術支援学概論	講義	斉藤泰嘉 岡崎昭夫 直江俊雄	Y12 0101	3	火 4 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 10 名以内 1 2 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日	

	<p>授業概要 現代社会における芸術活動の環境形成を支援するための理論と方法について、基礎的な知識を学ぶ。</p>					
芸術支援学ⅡA	講義	斉藤泰嘉	Y120201	1~3	木2 芸術専門学群A棟 6A305	市民受講生10名以内 4月12日～平成20年2月29日
	<p>授業概要 美術館や市民ギャラリーでの美術展の企画運営について講述する。芸術支援の観点から美術展を分析し、芸術活動の活性化を研究する。</p>					
芸術支援学学外演習B	実習	斉藤泰嘉 岡崎昭夫 直江俊雄	Y120502	1~3	集中 学外	市民受講生10名以内
	<p>授業概要 現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。</p>					
芸術支援学ⅡB	講義	岡崎昭夫	Y120301	1~3	木1 芸術専門学群A棟 6A305	市民受講生10名以内 4月12日～平成20年2月29日
	<p>授業概要 芸術家の教育的支援を通して芸術の社会的貢献を考える。</p>					
芸術支援学ⅡC— クリエイティブ・ アート・ライティ ング—	講義	直江俊雄	Y120801	1~3	金1 芸術専門学群A棟 6A306	市民受講生10名以内 4月12日～平成20年2月29日
	<p>授業概要 芸術体験を言葉で伝え合う創造的な活動について、ワークショップやグループワーク等を通して学び、芸術制作、理論研究、ジャーナリズム、教育活動等、多様な領域において芸術環境の形成を支援する資質の基礎を養う。</p>					

	造形教育論 A	講義	岡崎昭夫	Y500121	1~3	水 1 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 10 名以内 4月12日～平成20年2月29日
		授業概要 アメリカの美術教育の実践的教材を解説し、授業方法を理解する。					
	美術科指導法演習 II	実習	直江俊雄	9478001	3	集中(1月～2月の 2日間)	市民受講生 10 名以内
		授業概要 芸術学習支援の基礎となる美術批評学習の考え方について、アートゲームや美術館でのワークショップなどを体験しながら学ぶ。					
	アート・ライティング論	講義	斉藤泰嘉 直江俊雄 寺門臨太郎		1~3	月 3 芸術専門学群 B 棟 6B203	市民受講生 5 名程度 4月12日～平成20年2月29日
		授業概要 芸術、とくに美術に関する文章作成能力の向上を目指す。					
美術(洋画) コース	洋画概論	講義	玉川信一	Y210101	1	金 1	市民受講生 10 名以内 4月12日～6月25日
		授業概要 絵画のもつ意義・特質・その他全般について、現代絵画を軸として講述しながら、絵画として成り立つまでの基本的な諸要素を分析する。更に、明治以降の日本絵画の展開について、今日に至るまでの経過と問題点を提起する。					
	洋画技法論	講義	内藤定壽	Y210201	1	金 1 芸術専門学群 B 棟 6B203	市民受講生 3 名以内、油絵等の制作の 経験者 4月12日～6月25日
		授業概要 表現材料・絵画技法の意味と、油彩画における画面構成上必要な諸技法について解説する。					

	洋画構想論	講義	福満正志郎	Y210301	3	金 1 芸術学系棟 B203	市民受講生 10 名以内、 油絵等の制作の経験者 1 2 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
	授業概要 洋画の作品制作における構想について、総論及び各論を解説する。制作の基幹となる構想の意味を考え、その契機、様態、発想法における柔軟で幅広い構想力について具体的作例にふれながら解説する。						
	油絵実習 I A, II A I B, II B I C, II C I D, II D	実習	玉川信一 内藤定壽 仏山輝美 福満正志郎	Y210713 Y210723 Y210733 Y210743	集中	学内	市民受講生 5 名程度 4 月中旬 条件：本学公開講座中級以上レベル。風景画を描くための画材一式を毎日各自持参のこと。あわせて講評会（6 時間）に参加すること。 貸し出し用野外風景写生用イーゼルあり。
授業概要 実質 2 4 時間で学内の風景を描く。あわせて講評会（6 時間）に参加すること。 実習時間 1 0 : 1 0 ~ 1 6 : 3 0							
美術(日本画)コース	日本画概論	講義	太田圭 程塚敏明	Y240101	1	木 2 6B203	市民受講生 10 名程度 4 月 1 2 日～6 月 2 1 日
		授業概要 絵画の中でジャンル分けされる「日本画」とは何か。その基本的意味及び特徴等について日本画史を辿りながら、技法・材料・概念の変遷を考察し、現代の日本画に対する理解を深める。 (スライド・ビデオ使用)					

	日本画実習基礎Ⅱ	実習	程塚敏明 太田圭 山本浩之	Y240523	集中	水 3 学内	市民受講生 10 名程度、4～6 月に農林技術センターまたは実験植物園で実習する際に受入れる。原則として、「日本画基礎実習」も受講できる方
		授業概要 花をモチーフとした彩色写生を通し、日本画の基礎となる観察眼や色彩表現力を養う。鉛筆、水彩絵具等の写生用画材一式を持参のこと。※日本画実習基礎Ⅱと日本画基礎実習は連動している授業なので、両方受講できる方に限る。					
	日本画基礎実習	実習	藤田志朗	Y201103	集中	木 4,5 学内	市民受講生 10 名程度、4～6 月に農林技術センターまたは実験植物園で実習する際に受入れる。原則として、「日本画実習基礎Ⅱ」も受講できる方
		授業概要 花をモチーフとした彩色写生を通し、日本画の基礎となる観察眼や色彩表現力を養う。鉛筆、水彩絵具等の写生用画材一式を持参のこと。※日本画実習基礎Ⅱと日本画基礎実習は連動している授業なので、両方受講できる方に限る。					
美術(彫塑)コース	彫塑概論	講義	柴田良貴	Y220101	2	金 1	市民受講生 5 名程度 9 月 3 日～11 月 19 日
		授業概要 彫塑の意義、特質その他彫塑全般について専門的立場から、その概要を理論的に解明する。意義については語義から説き、造形的具体的な面からの解明を加え、その造形性、造形要素等に触れ、彫塑に対する理解を深める。さらに、11 月初旬に開催中の日展を実際に鑑賞し、実作品からその認識を深める。1 年生を主たる対象とするが、理由があれば他の学年に及ぶのも良い。					

美術(書) コース	書概論	講義	菅野智明	Y230101	3	火 4 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 5 名以内、学期完結 1 2 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
		授業概要 書の意義や芸術性、中日書道の歴史を概説し、表現・鑑賞など学書の範囲や特性についても論述する。					
	書実習 A	実習	()	Y000503	1	月 4,5 芸術専門学群 A 棟 6A403	市民受講生 5 名以内 4 月 1 2 日～6 月 2 5 日
		授業概要 書写・書道の基礎的技能を習得するとともに、書教育に対する理解を深める。					
	書実習 B	実習	菅野智明	Y000603	2	月 4,5 芸術専門学群 A 棟 6A403	市民受講生 5 名以内 9 月 3 日～1 1 月 1 9 日
		授業概要 書写・書道の基礎的技能を習得するとともに、書教育に対する理解を深める。					
構成(構成・ 総合造形・ クラフト) コース	造形原論	講義	森竹巳	Y310121	1	木 1	市民受講生 2,3 名 4 月 1 2 日～6 月 2 5 日
		授業概要 造形の基礎的で重要な問題について、スライド等を用い、実例をあげながら講述する。					
	色彩学	講義	山本早里	Y300211	1	金 1	市民受講生 2,3 名 4 月 1 2 日～6 月 2 5 日
		授業概要 色彩学の基礎的な理論を中心に講義する。					

	造形心理学	講義	山本早里	Y300301	2~3	金 1	市民受講生 2,3 名 9 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
	授業概要 造形創作および鑑賞の手がかりとして重要な感覚・知覚心理学的知見に関して、視覚を中心に講義する。また心理評価の計測手法などにも触れる。						
	総合造形概論	講義	國安孝昌	Y320101	3	水 3	市民受講生 3~5 名 1 2 月 3 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
	授業概要 総合造形がカバーする領域についての基本的な事項について、スライド等を用いて、その概要を講義する。						
構成（陶芸） コース	クラフト概論	講義	栗田保久	Y300401	2	木 2 第 3 学群棟 3A309	市民受講生 5 名程度 9 月 3 日～1 1 月 1 9 日
	授業概要 歴史、社会面からの洞察を加えながら、クラフトの種類やその意匠、機能、特性について基礎的考察を行う。						
	陶芸実習	実習	齋藤敏寿	Y000403	1~2	火 1,2 工房プラスチック 加工室	市民受講生 5 名程度 4 月 1 2 日～1 1 月 1 9 日
	授業概要 陶芸の制作実習により基礎的専門知識を体得する。						
	陶芸実習 A	実習	齋藤敏寿	Y630903	1~2	月 1,2 工房プラスチック 加工室	市民受講生 5 名程度。陶芸実習との両方を履修は不可 4 月 1 2 日～1 1 月 1 9 日
	授業概要 土（粘土）から陶磁に至る基礎的な技法や技術をもとに、陶芸作品を制作する。						

	陶芸実習 B	実習	齋藤敏寿	Y630913	1~2	火 5,6 工房プラスチック 加工室	市民受講生 5 名程度。陶芸経験者対象 4 月 1 2 日～1 1 月 1 9 日
		授業概要 陶磁による立体造形の表現とその可能性を追求する。					
構成(ビジュアル)コース	印刷デザイン表現論	講義	笹本純	Y631601	3	金 4 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 10 名程度 1 2 月 1 日～平成 2 0 年 2 月 2 9 日
		授業概要 印刷の基礎について概説する。印刷技術の特性を活かした造形・デザイン表現のあり方を論じる。					
	画像論	講義	笹本純	Y621701	1	金 2	市民受講生 10 名程度 4 月 1 2 日～6 月 2 5 日
		授業概要 画像（絵）というものを広く平面上に表された視覚イメージ一般として捉える。色々な事例を横断的に眺めつつ、画像の特性、機能、意義について改めて考え直してみたい。絵本やマンガ等も扱う。					
	ビジュアルデザイン 概論	講義	西川潔	Y610401	1	木 2	市民受講生数名以内 4 月 1 3 日～6 月 2 2 日
		授業概要 ビジュアルデザインは、視覚に訴えて伝達を企てることを言い、広告、標識、パッケージ、書籍、電子画像等、多領域にわたる。これらの過去、現在、未来について具体的事例をまじえて講述する。					
	ビジュアルデザイン 基礎演習	実習	ジョン・ トラン	Y621802	1,2	水 1 芸術専門学群 A 棟 6A204	市民受講生数名以内 4 月 1 2 日～1 1 月 1 5 日
		授業概要 色彩、構成、文学等ビジュアルデザインの基本について制作を通して学ぶ。 ※授業は英語。					

	ビジュアル・コミュニケーション論	講義	田中佐代子	Y410241	1	木 5 芸術専門学群A棟 6A204	市民受講生 10 名程度 4月12日～6月25日
		授業概要 現代の広告デザインに関する基本的な知識をグラフィックデザインの基本をふまえ、様々な事例を紹介しながらわかりやすく講述する。広告デザインに関するデザイン料や知的財産権に関する講述も行う。					
デザイン (情報・プロダクト・ 環境・建築) コース	造形論 B	講義	蓮見孝	Y510521	3	金 5 第 3 学群棟 3A202	市民受講生 10 名程度 12月3日～平成20年2月29日
		授業概要 デザインにおける造形の意味について、感性、技術、文化と関連させながら概説をする。					
	デザイン概論 1	講義	木村浩 金尚泰 山中敏正 李昇姫 五十嵐浩也	Y710301	1	木 2 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 10 名程度 4月12日～6月25日
		授業概要 デザインを人間性の源に存在するデザインマインドから生じるものと捉え、コミュニケーションや道具づくりという行為を通じて表現してきたデザインについて概説する。デザインの様々な事例を取り上げ、文化的側面と技術的側面から、その概念と今日的課題を明らかにする。					
デザイン概論 2	講義	橋本剛 鵜沢隆 安藤邦廣 花里俊廣 貝島桃代	Y710401	2	木 2 芸術専門学群 A 棟 6A306	市民受講生 10 名程度 9月3日～11月19日	

		授業概要 人の生活空間を構想する建築デザインの扱う範囲や要素について、プロダクトなど建築に関わる諸領域との関連とも合わせて輪郭を描き、そのあり方について考える。				
デザイン概論3	講義	野中勝利 () 蓮見孝 鈴木雅和 渡和由	Y710501	3	木2	市民受講生10名程度 12月3日～平成20年2月29日
		授業概要 人間を取り巻く生活空間を包括的に対象とする環境デザインについて、その成り立ち、対象、範囲、背景、設計・計画の方法など、デザインの社会性の観点から総合的に講述する。				

**現代 GP 平成19年度
美と芸術のマイスター講座受講申込書**
(受講募集締切平成19年2月28日(水)まで)

以下の記入事項を E-mail で送付してください。本申込書は筑波大学現代 GP の HP から入手できます。E-mail が使用できない方は本ページに必要事項を記入し切り離して FAX で送付していただくか、郵送してください。

E-MAIL: hsibata@sec.tsukuba.ac.jp
<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~gendaigp/>
FAX: 029-853-6508
〒305-8574 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学芸術学系気付 現代 GP 事務局あて

氏名： (ふりがな：)

住所： (応募者が多い場合は、つくば市民を優先させていただきます)
〒

TEL：

FAX：

E-mail：

職業：

生年月日：

性別：

希望するコースと希望科目 (希望科目は希望コース内の3 科目以上をご記入下さい。〔美術(彫塑) コースを除く])：

受講目的(本講座の受講に際し、具体的に解決したい課題をお持ちの方は記入してください。具体的課題をお持ちでない方は、参加理由をお書き下さい)：